

10月27日 15:00 ~ 17:00

14 鳩間×早稲田 共に考える島の未来 —2000キロ離れた東京から考える—

沖縄県八重山郡にある鳩間島という小さな島には、現在約50人の島民が暮らしている。ともすれば“限界集落”と括られるこの島は、暮らし、教育、自然環境、文化継承など様々な側面で問題を抱えている。本企画では、島と交流を続けてきたプロジェクトと識者からの問題の提起、学生と社会人のグループワークを通して、鳩間島より約2000キロ離れた東京から、島を身近に感じ支える人を増やすと共に、学生と社会人が島に何ができるのかを見出す。

主催 平山郁夫記念ボランティアセンター公認 離島交流プロジェクト
会場 小野講堂 **お問い合わせ先** 離島交流プロジェクト広報担当
E-mail: ritoukouryuu@gmail.com URL: http://ritoukouryup.jimdo.com/

10月27日 18:00 ~ 20:00 (開場17:30)

15 「東京・都市・音」社会学と電子音楽の現場から 毛利嘉孝×若林幹夫×平本正宏

2人の社会学者と気鋭の作曲家による対談、ライブ。前半は毛利嘉孝、若林幹夫、平本正宏がそれぞれの立場から「都市・東京・音」をテーマに語り、対談する。後半には平本正宏による電子音楽ライブを行う。



毛利嘉孝◆東京藝術大学准教授。京都大学経済学部卒、ロンドン大学ゴールドスミス・カレッジPhD。専門は社会学、文化研究・メディア研究。
平本正宏◆作曲家。Tekna TOKYO主宰。東京藝術大学大学院音楽研究科修了。写真家篠山紀信のdigi+KISHINや展覧会の音楽を担当。映画「さよなら溪谷」の音楽を担当。
若林幹夫◆社会学者。専門は都市論、メディア論、時間・空間論。本学教育・総合科学学術院教授。

主催 教育・総合科学学術院 **会場** 大隈小講堂
お問い合わせ先 藤本 愛(教育・総合科学学術院、複合文化学科助手)
E-mail: culture@edu.waseda.ac.jp

関連企画

早稲田大学嘱託書家・渡部大語書作展 10月1日 10:00 ~ 18:00 (初日12:00 ~ / 最終日 ~ 14:00)

三十数年間、早稲田大学お抱えの書家として、学位記・賞状・掲示物等の揮毫を手掛けた渡部大語の書の作品展。大学構内で日頃見かける立て看板等とは異なる、芸術性豊かな味わい深い作品を展示する。

渡部大語◆書道研究途上社代表。出版社が主催するユーストリーム生放送「大五郎先生」の詩文書教室にレギュラー出演するなど、「大五郎先生」として広く活躍中。

主催 文化推進部文化企画課 **共催** 総務部法人課 **会場** ワセダギャラリー
お問い合わせ先 文化推進部文化企画課 TEL: 03-5272-4783
E-mail: tishida@waseda.jp

多和田葉子・高瀬アキ パフォーマンス&ワークショップ 11月14日 11月15日

パフォーマンス「魔一時間の消えた島」【11月14日 18:30 ~ 20:30(開場:18:00)】…トーマス・マンの「魔の山」は、第一次世界大戦開戦前夜、スイス山中のサナトリウムに入院中の従兄を見舞ったハンズ・カストルブが、サナトリウムに流れる不思議な時間の網の目に絡め取られてしまう話だ。地震・津波・原発事故を経て、気が遠くなるような放射性物質の半減期を知ったわたしたちは、自宅にいながら、これまでとは違う時間のなかに入れられてしまったのではないか。消えてしまった「いま・ここ」をめぐる投げかけられる、ベルリンからの問い。

ワークショップ「言葉と音楽 Vol.4」【11月15日 16:30 ~ 18:30(開場:16:00)】…2010年の開催から4回目。多和田葉子のテキストと高瀬アキの即興ピアノと共に、言葉と音楽のコラボレーションの可能性を探る。多和田葉子「動物たちのパベル」(『すばる』2013年8月号)を使って行う。

ベルリン在住の作家・多和田葉子とジャズピアニスト・高瀬アキによるワークショップとパフォーマンス。多和田葉子は芥川賞、谷崎潤一郎賞、泉鏡花賞、野間文芸賞、早稲田大学坪内逍遙大賞などを授与された、本学卒業の日本語作家であると同時に、ドイツ語でも創作を続け、ゲーテメダルなどを受賞している。高瀬アキはアメリカやヨーロッパで活躍を続けるコンテンポラリージャズの第一人者で、自ら作曲も手がける。

主催 文化構想学部文芸・ジャーナリズム論系 **共催** 文化推進部文化企画課
会場 小野講堂 **お問い合わせ先** 松永美穂研究室 TEL: 03-5286-3637
文化推進部文化企画課 TEL: 03-5272-4783
E-mail: art-culture@list.waseda.jp ※未就学児入場不可

アクセス案内 ●電車 JR山手線 西武新宿線「高田馬場駅」徒歩20分、東京メトロ東西線「早稲田駅」徒歩5分、副都心線「西早稲田駅」徒歩17分
●都バス(学バス) 「高田馬場駅」―「早大正門」 「早稲田」徒歩5分 ●都電荒川線

早稲田大学文化推進部文化企画課 TEL: 03-5272-4783(月～金 9:00～17:00) E-mail: art-culture@list.waseda.jp <http://www.wasedabunka.jp/>

10月29日 13:00 ~ 17:00 (開場12:30)

16 【W-BRIDGEシンポジウム】 人結び、地域結び、森結び —震災後の地域文化の再生を考える—

かつて日本は、森-村-都市-人が結び、地域・地方の固有の文化が育まれていた。しかし、近代化、グローバル化が進むにつれ、つながりは途絶え、地域文化の多様性が失われ始めた。地域文化の多様性を守り育てることは、人のこころの多様性を支えるうえで必要不可欠である。このシンポジウムは、森と文化の歴史を再考し、地域文化・社会の再生への取り組みに行動している方々の話題から、私たちは何をなすべきかについて考える。



【プログラム】

総司会: 竹内純子(NPO法人国際環境経済研究所)

13:00 ~ 主催者から挨拶とシンポジウム主旨&登壇者の紹介

13:05 ~ ◇基調講演1 こころの多様性(森川 靖)

13:30 ~ ◇基調講演2 日本の森林文化(只木良也)
…… 休憩 ……

14:30 ~ 16:55 講演とパネル討論「森-村-都市、それは人で結ばれる」
・日本文化と林業(速水 亨)
・旅~社会貢献(本間勇輝・美和)
・岩手の森と福島・南相馬の再生(半谷栄寿)

森川 靖◆人間科学学術院教授。 **只木良也**◆京都府立林業大学学校校長/名古屋大学名誉教授。 **速水 亨**◆速水林業代表。 **本間勇輝・美和**◆「東北復興新聞」発行/NPO法人HUG 代表理事・編集長。 **半谷栄寿**◆福島復興ソーラー・アグリ体験交流の会代表理事。

主催 環境総合研究センター W-BRIDGE
共催 NPO法人国際環境経済研究所 / 平山郁夫記念ボランティアセンター
会場 小野講堂
お問い合わせ先 環境総合研究センター W-BRIDGE TEL: 03-5292-3526
E-mail: w-bridge@list.waseda.jp URL: http://www.w-bridge.jp/

「早稲田文化」を堪能しよう

早稲田文化芸術週間

10月14日月 ~ 10月30日水

入場無料・一般来場歓迎(一部事前申込が必要です)

2013

早稲田文化芸術週間は、早稲田大学の文化活動「早稲田文化」を発信する目的で、魅力的なイベントが無料で開催されます。爽りの秋に「早稲田文化」を堪能してみたい方はぜひご参加ください。

各企画の詳細については、文化推進部Webサイト(<http://www.wasedabunka.jp/>)または、各主催箇所にお問い合わせください。

10月8日 10:00 ~ 18:00 (日・祝閉室)

1 「大正デモクラシー」期の早稲田

1910年代から1920年代にかけてのいわゆる「大正デモクラシー」期の早稲田大学の歴史を大学側の動向、また教員や学生の動向から考察する展示を行う。また早稲田騒動や軍事研究団事件を事例として、当時の早稲田大学関係者にとってあるべき大学像とは何であったのかを考える。

主催 大学史資料センター **会場** 125記念室(26号館大隈記念タワー10F)
お問い合わせ先 大学史資料センター
TEL: 042-451-1343 E-mail: archives@list.waseda.jp

10月15日 8:00 ~ 22:00

2 早稲田フォトコンテスト

早稲田大学の「創立記念日」である10月21日を、学生たちに大学の歴史や伝統、さらには早稲田で学ぶことの意義を改めて認識させる日としたい。そのため、多くの学生が立ち寄り、学生会館2階のアトリウムに早稲田大学の学生が応募した、「早稲田の杜の風景」、「私の早稲田日記」(4枚1組)というテーマの写真、及び早稲田大学大学史資料センター等が保管している歴史的写真を並べる。是非見に来て欲しい。

主催 学生部学生生活課 **会場** 学生会館2階アトリウム
お問い合わせ先 学生部学生生活課 TEL: 03-3202-0706

10月14日 17:00 ~ 19:00 (開場16:30)

3 二代目桜川唯丸の夕べ in 都の西北 —ワールドミュージックと江州音頭 シンポジウムとライブ・踊りワークショップ—

江州音頭は滋賀発祥の大衆芸能であるが、大阪では浪曲やポピュラー音楽などと混交し、独自の発展を遂げてきた。初代桜川唯丸はワールドミュージックブームに乗って江州音頭の革命児として活躍し、新しい境地を開拓した。今回は二代目桜川唯丸とラジオDJ鷺巣功により、江州音頭とワールドミュージックの関わりについて語る。後半では二代目桜川唯丸、虹友美、永田充康による一夜限りのスペシャルライブ、踊りワークショップを行う。



二代目桜川唯丸(江州音頭)◆桜川唯丸会主。1978年初代桜川唯丸に桜川唯美智として入門。1995年二代目桜川唯丸襲名。ワールドミュージックやロック等幅広い音楽で新しい江州音頭に取り組む。
虹友美(三味線)◆三味線なないろ会主。日本民謡虹葉会専属伴奏。
永田充康(太鼓)◆河内音頭とNew Orleans Musicをルーツとする異色のドラマー、音頭取り。
鷺巣功◆首都圏河内音頭推進協議会議長、InterFMにてDJを務める。

主催 教育・総合科学学術院 **共催** 首都圏河内音頭推進協議会
会場 大隈大講堂
お問い合わせ先 藤本 愛(教育・総合科学学術院、複合文化学科助手)
E-mail: culture@edu.waseda.ac.jp

10月18日 16:30 ~ 18:00 (開場16:00)

4 人口・リプロダクティブヘルス・ジェンダー ー産む性・育てる性と私の人生ー

自らの能力や可能性を活かして生きることと結婚・出産・育児。日本では、なぜ女性のほうが、その両立が難しいのでしょうか。そもそも産む性、育てる性とは女性のことでしょうか。医学が捉えてきた性差・性分化、「性と生殖の健康とその権利」、生殖補助医療、そして、人口爆発や少子化という世界の人口問題にもテーマを広げて、ご講演いただきます。グローバルな時代における「私の人生」を一緒に考えてみませんか？

PROFILE

若杉なおみ◆筑波大学大学院生命環境科学研究所教授(環境ディプロマティックリーダープログラム)。東北大学医学部卒業後、小児科医として臨床に携わったかわら、パリのパスツール研究所にて免疫学や感染症(特にエイズ)の基礎研究に従事。その後、アジア・アフリカ諸国での国際保健医療協力の現場へ。JICAやWHOの委託を受け、20数カ国の開発途上国の現場で感染症・エイズ、ジェンダー、保健医療改善のためのプロジェクトの計画と実施に関わる。

主催 男女共同参画推進室 **共催** キャリアセンター、ジェンダー研究所
会場 大隈小講堂
お問い合わせ先 男女共同参画推進室
 TEL: 03-5286-8572 E-mail: sankaku-office@list.waseda.jp
 URL: http://www.waseda.jp/sankaku/

早稲田創立記念日 10月21日 9:00 ~ 22:00

5 早稲田キャンパス・キャンパスガイド 手作りの早稲田名所案内

創立記念日に関係する人物や建物を中心とした早稲田キャンパスの見所を、キャンパスツアーガイド手作りのポップで案内するものである。日英表記とし、授業の行き帰りで気軽に掲示を見ることで、大学の沿革やエピソードを知ることが出来る。

主催 広報室広報課 **会場** 早稲田キャンパス各所
お問い合わせ先 キャンパスツアー受付 TEL: 03-5286-1276

早稲田創立記念日 10月21日 13:00 ~ 14:30 (開場12:30)

6 地域に根付く生涯学習 ー中央線でつながる新宿と中野ー

第1部 「早稲田大学における生涯学習の役割」 講演者:加藤哲夫
来春、エクステンションセンター 3校目となる中野校開校に合わせ、大学における生涯学習の意義と課題について語る。

第2部 「中央線でつながる新宿と中野」 講演者:戸沼幸市
新宿駅につながる中央線(甲武鉄道)は明治22年、武蔵野を西に直進して八王子まで開通した。大正12年の関東大震災後、東京人は軟弱地盤の下町を避け、山の手の地域ー西新宿、中野、杉並などに移住し、街を築きあげた。オープンカレッジの人気講座「新宿学」をベースに、中野を含む「山の物語」を概説する。

加藤哲夫◆法文学部教授。2010年9月より早稲田大学エクステンションセンター所長。
戸沼幸市◆早稲田大学名誉教授。2004年より早稲田大学オープンカレッジ「新宿学」を担当。

主催 エクステンションセンター **会場** 大隈小講堂
お問い合わせ先 エクステンションセンター
 TEL: 03-3208-2248 E-mail: wuext@list.waseda.jp

早稲田創立記念日 10月21日 15:00 ~ 16:30 (開場14:30)

7 伝統芸能で語る大隈重信

幕末から明治・大正の長きにわたり常に政界の中心にあり続けた巨人・大隈重信。政党政治や早稲田大学の創立、経済、外交、文化に残した業績は多い。しかしその豊か過ぎる業績故に全体像がイメージしにくい。そこで「講談」という古典芸能の大胆な手法により波乱の生涯を物語化し、一度聞けば忘れられないような鮮烈な印象を残すことに挑戦した。ワクワク胸躍らせて聞く日本近代創設史、それが「講談・大隈重信」である。

PROFILE

神田陽司◆早稲田大学第一文学部卒。情報誌・シティーロードの副編集長を経て二代目・神田山陽に入門。創作講談を数多く発表中。日本講談協会理事。

主催 文化推進部文化企画課 **会場** 小野講堂
お問い合わせ先 文化推進部文化企画課 TEL: 03-5272-4783
 E-mail: bunkashukan@list.waseda.jp URL: http://www.wasedabunka.jp/

早稲田創立記念日 10月21日 16:00 ~ 18:00 (開場15:30)

8 東日本大震災ドキュメンタリー 「きょうを守る」上映会・講演会 ゲスト:石木幹人氏(元岩手県立高田病院院長)

第1部(16:00 ~ 17:10) 「きょうを守る」上映会
陸前高田出身で震災当時、大学2年生であった監督が故郷にて母親や同級生・知人にインタビューを行い撮影・編集したドキュメンタリー映画を上映。
第2部(17:20 ~ 18:00) 石木先生による講演会
震災により全壊した高田病院で当日、院長として陣頭指揮を執られた石木幹人氏(本学OB)から、医療過疎地での病院経営や震災当日の状況、大震災からの復興プロセスについて語っていただく。
この機会にぜひ、今から私たちが被災地でできることを考えてみたい。

PROFILE

石木幹人◆医学博士。早稲田大学理工学部電気通信学科、東北大学医学部卒業。2004年から岩手県立高田病院院長。東日本大震災により、壊滅的になった地域医療の再生に全力で尽力されている。

主催 平山郁夫記念ボランティアセンター **共催** 国際コミュニティセンター
会場 大隈小講堂 **お問い合わせ先** 橋谷田雅志 TEL: 03-3203-4192
 E-mail: m.hashiyata2@kurenai.waseda.jp

早稲田創立記念日 10月21日 18:00 ~ 19:30 (開場17:30)

9 早稲田文化芸術週間2013 創立記念日演奏会

昨年創立100周年を迎えた早稲田大学交響楽団は、早稲田の学生のみで構成された唯一のオーケストラである。創立以来、サントリーホールなど国内最高級のホールでの定期演奏会、ベルリンやウィーンなど世界中を巡るツアー、ヘルベルト・フォン・カラヤンをはじめとした世界最高の音楽家たちとの共演など、長年精力的な活動を行っている。本公演は、早稲田大学創立記念日を祝して、日頃の「ワセオケ」の結集を演奏するものである。



主催 文化推進部文化企画課 **会場** 大隈大講堂
お問い合わせ先 文化推進部文化企画課 TEL: 03-5272-4783
 E-mail: bunkashukan@list.waseda.jp URL: http://www.wasedabunka.jp/

10月24日 16:30 ~ 18:00 (開場16:00)

10 『学生注目！社会が求める「学生市民」 ー社会人0年目の私たちが考えることー』

数万人の学生が集い、4年間以上の月日を過ごすまち、早稲田。学生も立派なまちの一員、すなわち「学生市民」である。私たちは「学生市民」として地域から何が得られるのか、そして何をすべきか。このシンポジウムでは多様なフィールドで活動する学生や社会人が集まり、学生の可能性と早稲田・高田馬場地域で活動する意義を考える。そして自分自身のキャリア形成にどのように活かせるかをもに見つめる機会とする。

●基調講演: (株)フジテレビジョン CSR推進室長 桜井郁子氏
 ●アトム通貨「学生×地域=∞(ヒトマチ)プロジェクト」の紹介
 ●パネルディスカッション: 地域で活動する学生・社会人を迎えて

PROFILE

桜井郁子◆1977年、早稲田大学第一文学部美術史学専攻卒業。同年、フジテレビにアナウンサーとして入社。83年、希望して番組制作セクションに移り、「カノッサの屈辱」「ウゴウゴルーガ」などをプロデュース。事業局を経て2007年からCSR推進室勤務。2011年CSR推進室長。現在に至る。

主催 平山郁夫記念ボランティアセンター公認 アトム通貨プロジェクト
会場 大隈小講堂 **お問い合わせ先** 木野知美保 TEL: 03-5272-6366
 E-mail: atom-member@hotmail.co.jp URL: http://atom-community.jp/
事前申込 要 **申込先** atom-member@hotmail.co.jp **申込方法** メール申請

10月24日 18:30 ~ 20:30 (開場18:00)
25日 13:00 ~ 16:30 (開場12:30)

11 「LIFE with ART Project: 理論と実践の横断」 創造のためのアーカイヴ&アーカイヴからの読み替え

パフォーマンスアートにおける「アーカイヴ」に焦点をあてた公開テーブルミーティング。過去の優れた芸術作品のアーカイヴを現代へ読み替え、新たな展開へと繋げる行為を「創造のためのアーカイヴ」と仮称し、基調講演、ディスカッションを行う。国内外の有識者・専門家・制作者をパネリストに迎え、〈個人の記憶〉の堆積を〈公共〉の場に掲示する行為としての芸術表現を通し、現代におけるアーカイヴの有益な活用について考える。

【プログラム】
10月24日(木)
「シンガポールにおける〈介入の芸術〉
〜パフォーマンス・アートの歴史と現在」

10月25日(金)
イントロダクション:
〈創造のためのアーカイヴ〉という仮説について〜プロジェクトの発足の背景

公開テーブルミーティング:
「創造のためのアーカイヴ」&「アーカイヴからの読み替えと実践」

オープンディスカッション
「理論と実践との横断、その可能性を語る」



川口隆夫「大野一雄について」(2013)photo bozo

PROFILE

建畠哲◆京都市立芸術大学学長、埼玉県立近代美術館長。 **港千尋**◆写真家、著述家。
Ho Kuan-Cien◆シアタープロジェクトマネージャー。 **川口隆夫**◆パフォーマンス、ダンサー、振付家。 **日沼祐子**◆女子美術大学准教授、アートNPOリンク理事。
八巻真哉◆LIFE with ART Project 代表。 **岡室美奈子**◆坪内博士記念演劇博物館館長。 他

主催 坪内博士記念演劇博物館 **共催** LIFE with ART Project
会場 小野講堂
お問い合わせ先 坪内博士記念演劇博物館 TEL: 03-5286-1829
 E-mail: enpaku@list.waseda.jp URL: http://www.waseda.jp/enpaku/

10月26日 13:00 ~ 17:00 (開場12:30)

12 四次元との対話 ー縄文と現代をつなぐものー

「縄文」と四次元との対話をメインテーマに、我が国の最古層の文化と現代が時空を超えて響きあう可能性を再考する。第1部で、研究者の方々に縄文時代社会について、最新の研究成果をご報告いただき、第2部では、写真家の浅井慎平氏に「縄文」と現代との対話の可能性について、岡本太郎の「縄文の発見」をめぐる写真や論考などにふれながら縦横に語っていただく。第3部では、出演者による自由な討論を行い、会場からの発言の機会も設定する。

【プログラム】
13:00-13:10:開会の挨拶と趣旨説明 塚原史(會津八一記念博物館長)
【第1部】13:10-13:55「縄文社会研究の最前線」(仮)
高橋龍三郎(文学学術院教授)
13:55-14:40「考古学と民族学」(仮)
中門亮太(會津八一記念博物館助手)
【第2部】14:50-16:20「縄文と現代をつなぐもの(岡本太郎再考)」(仮)
浅井慎平(写真家・本学OB)・塚原史(館長)
【第3部】16:20-16:50討論+会場との質疑応答
総司会:川尻秋生(會津八一記念博物館副館長)

PROFILE

浅井慎平◆写真家。海岸美術館館長、大阪芸術大学大学院教授。 **高橋龍三郎**◆文学学術院教授。 **塚原史**◆法文学学術院教授、會津八一記念博物館長。 **中門亮太**◆會津八一記念博物館助手。

主催 會津八一記念博物館 **会場** 小野講堂
お問い合わせ先 會津八一記念博物館 TEL: 03-5286-3835
 E-mail: aizu@list.waseda.jp E-mail: http://www.waseda.jp/aizu/

10月27日 13:00 ~ 18:00 (開場12:30)

13 いまだ知られざる寺山修司 ードキュメンタリーとフィクションのはざまからー

田中未知氏(元・寺山修司秘書兼マネージャー)所蔵の寺山修司関連資料が演劇博物館に寄託されたことを記念し、田中氏からお話を伺うとともに、寺山が構成したテレビドキュメンタリーの上映と、テレビマンユニオン創立メンバーの今野勉氏を中心とするパネルディスカッションを通して、寺山の革新性を探る。



【プログラム】
1部 田中未知氏に聞く
ー1970年代と寺山修司
話し手・田中未知/聴き手・扇田昭彦、梅山いつき
2部 寺山修司構成テレビドキュメンタリー上映
3部 パネルディスカッション
登壇者・今野勉、秋山浩之、松井茂、長谷正人、岡室美奈子

PROFILE

田中未知◆寺山修司が亡くなるまでの16年間秘書兼マネージャーを務めた。
扇田昭彦◆60年代から第一線で活躍する演劇評論家。 **今野勉**◆テレビマンユニオン創立者の一人で、現・取締役最高顧問。 **秋山浩之**◆TBS・ディレクター。 **松井茂**◆東京芸術大学助教。テレビドキュメンタリーの研究。 **長谷正人**◆本学教授。映画・テレビの研究。 **岡室美奈子**◆本学教授。坪内博士記念演劇博物館館長。テレビドラマ・演劇の研究。 **梅山いつき**◆本学非常勤講師。アングラ演劇の研究。

主催 坪内博士記念演劇博物館 **共催** 演劇映像学連携研究拠点
会場 大隈大講堂
お問い合わせ先 梅山いつき E-mail: umeyama@aoni.waseda.jp